

令和6年度

大阪府中学生チャレンジテスト

結果に関する参考資料

(第3学年)

柏原市教育委員会

1. 調 査 目 的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒の課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 大阪府教育委員会が、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (3) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組みを通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (4) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (5) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

2. 調 査 概 要

- (1) 調査日 令和6年9月3日（火）
- (2) 対象学年 中学校 第3学年全生徒
- (3) 調査内容 国語・社会・数学・理科・英語・アンケート調査

※調査問題・結果資料は、大阪府ホームページ内に掲載されています。

調査問題 (R6) :

https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/challenge_r6_mondai.html

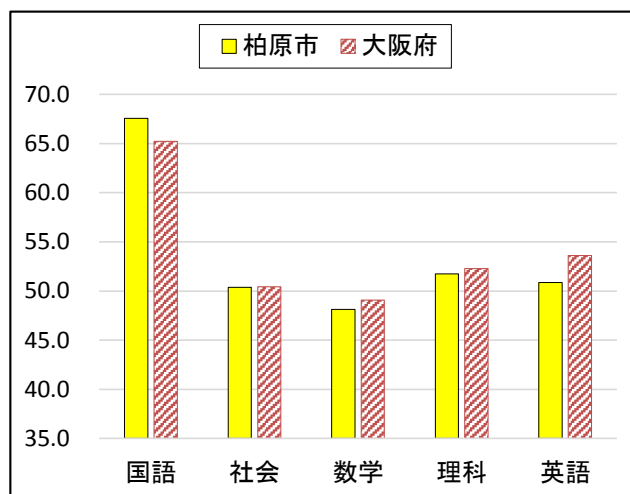
結果資料 (R6) :

https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/challenge/r6challenge_kekka.html

① 各教科の平均点

	柏原市	大阪府	差(市-府)
国語	67.6	65.2	2.3
社会	50.4	50.4	▲ 0.0
数学	48.1	49.1	▲ 0.9
理科	51.7	52.3	▲ 0.5
英語	50.9	53.6	▲ 2.7

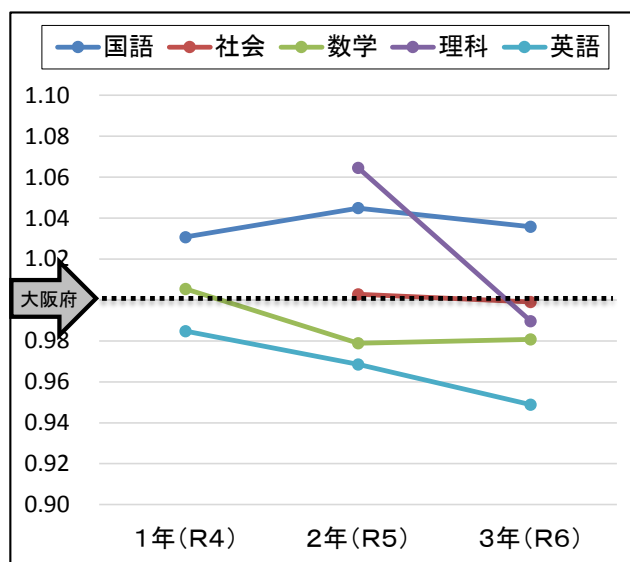
※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。



② 同一集団の経年変化(対大阪府比)

	1年(R4)	2年(R5)	3年(R6)
国語	1.03	1.04	1.04
社会		<u>1.00</u>	1.00
数学	1.01	0.98	0.98
理科		<u>1.06</u>	0.99
英語	0.98	0.97	0.95

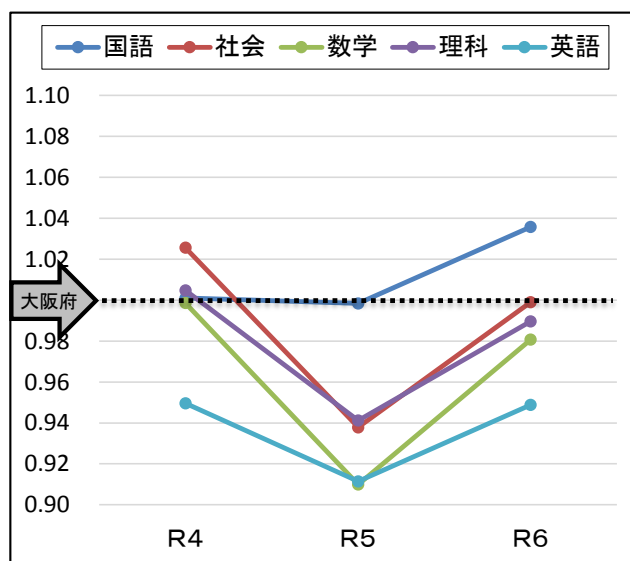
※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。



③ 同一学年(3年生)の経年変化(対大阪府比)

	R4	R5	R6
国語	1.00	1.00	1.04
社会	1.03	0.94	1.00
数学	1.00	0.91	0.98
理科	1.00	0.94	0.99
英語	0.95	0.91	0.95

※社会・理科で選択された問題が異なる場合(下線)は、各結果の平均値を示している。

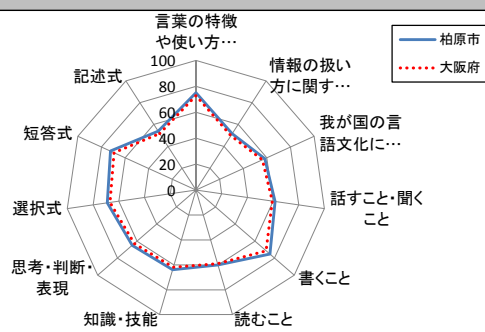


	平均点
柏原市	67.6
大阪府	65.2

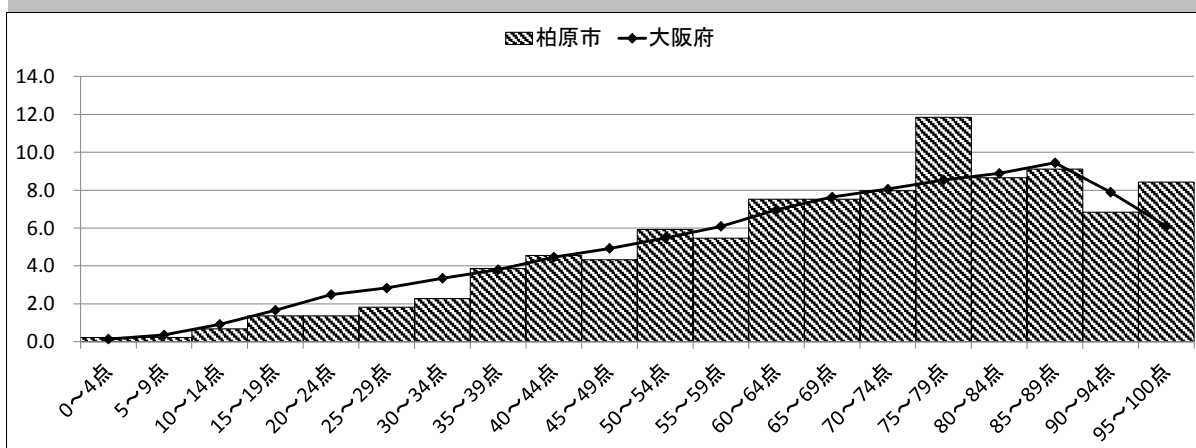
国 語

◆区分別レーダーチャート

		区分	対象設問数(問)	得点率(%)※		府比
分類	知識及び技能			柏原市	大阪府	
学習指導要領の領域等	知識及び技能	言葉の特徴や使い方にに関する事項	10	75.0	72.8	1.03
		情報の扱い方にに関する事項	2	51.5	49.8	1.03
		我が国の言語文化にに関する事項	7	58.4	56.2	1.04
	思考力・判断力・表現力等	話すこと・聞くこと	5	61.5	59.4	1.04
		書くこと	5	75.4	71.4	1.06
評価の観点	知識・技能	読むこと	8	60.2	59.1	1.02
		知識・技能	19	64.1	61.9	1.03
		思考・判断・表現	18	65.1	62.9	1.03
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	選択式	18	69.0	66.9	1.03
		短答式	10	72.4	69.3	1.04
		記述式	3	53.8	51.7	1.04



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)

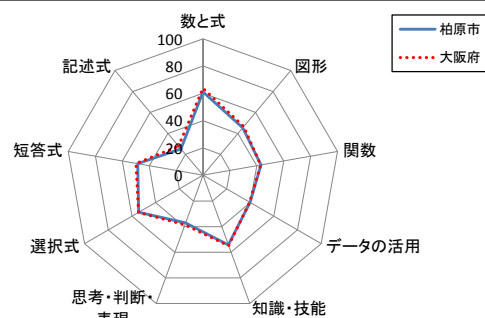


	平均点
柏原市	48.1
大阪府	49.1

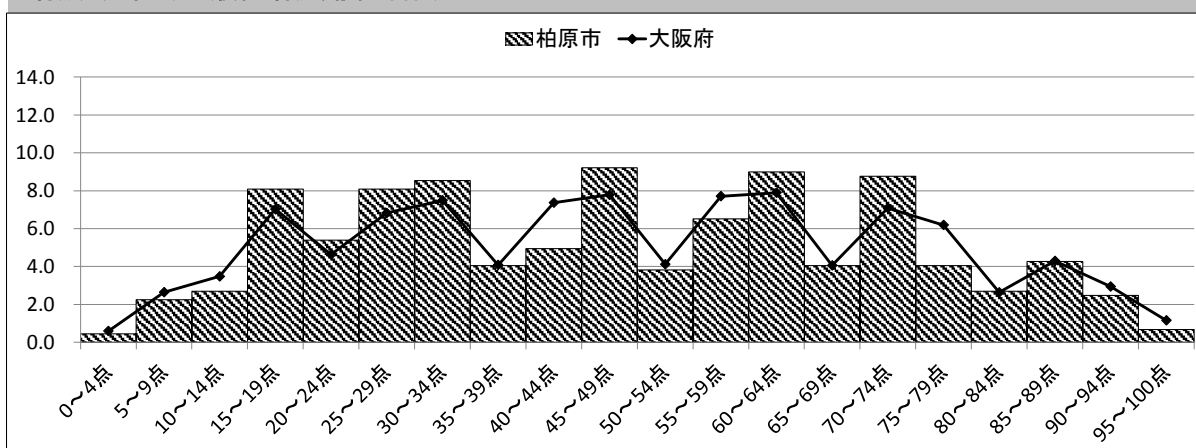
数 学

◆区分別レーダーチャート

		区分	対象設問数(問)	得点率(%)※		府比
分類	知識及び技能			柏原市	大阪府	
学習指導要領の領域等	知識・技能	数と式	9	61.0	63.7	0.96
		図形	9	45.3	46.5	0.97
		関数	9	43.2	42.9	1.01
		データの活用	6	39.8	39.5	1.01
評価の観点	知識・技能	知識・技能	21	54.3	55.0	0.99
		思考・判断・表現	12	37.2	38.6	0.96
		主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	選択式	14	54.4	54.4	1.00
		短答式	15	48.4	49.8	0.97
		記述式	4	25.2	27.8	0.91



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)

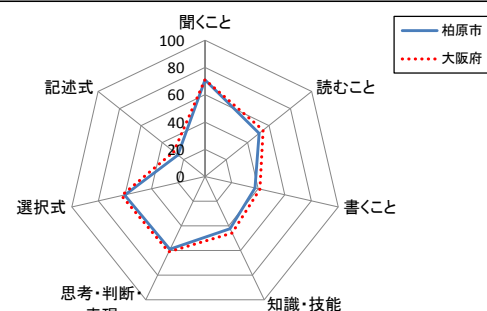


	平均点
柏原市	50.9
大阪府	53.6

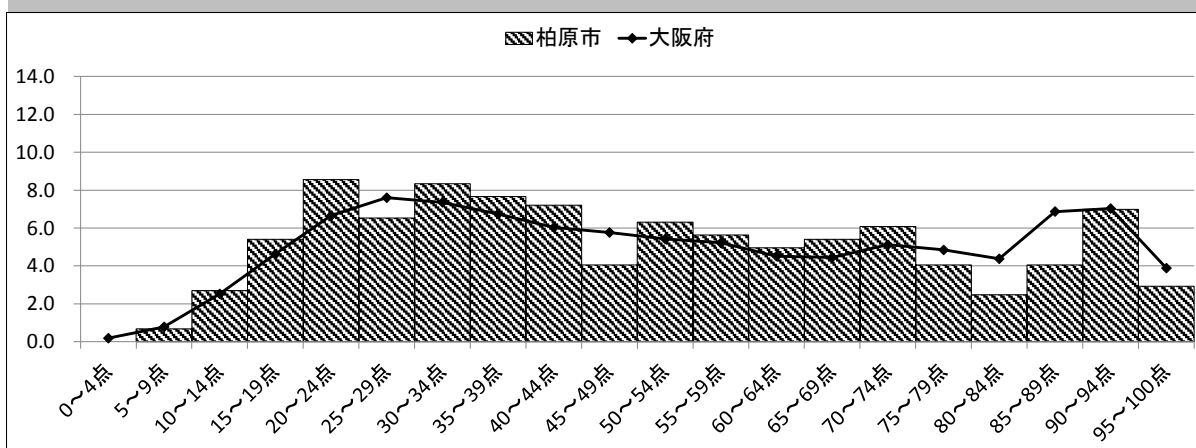
英 語

◆区分別レーダーチャート

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※		府比
			柏原市	大阪府	
学習指導要領の領域等	聞くこと	10	71.0	71.0	1.00
	読むこと	12	50.7	54.5	0.93
	話すこと〔やり取り〕	—	—	—	—
	話すこと〔発表〕	—	—	—	—
	書くこと	13	37.6	41.2	0.91
評価の観点	知識・技能	18	42.4	45.8	0.93
	思考・判断・表現	17	59.0	61.1	0.97
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	26	60.3	62.6	0.96
	短答式	—	—	—	—
	記述式	9	25.3	29.2	0.87



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)

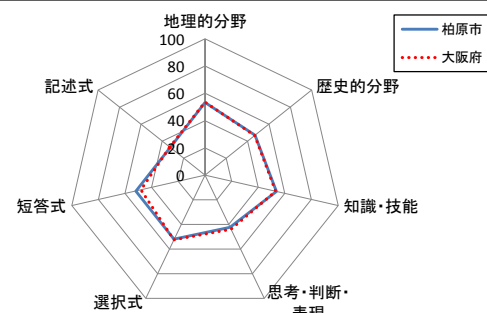


	平均点
柏原市	50.4
大阪府	50.4

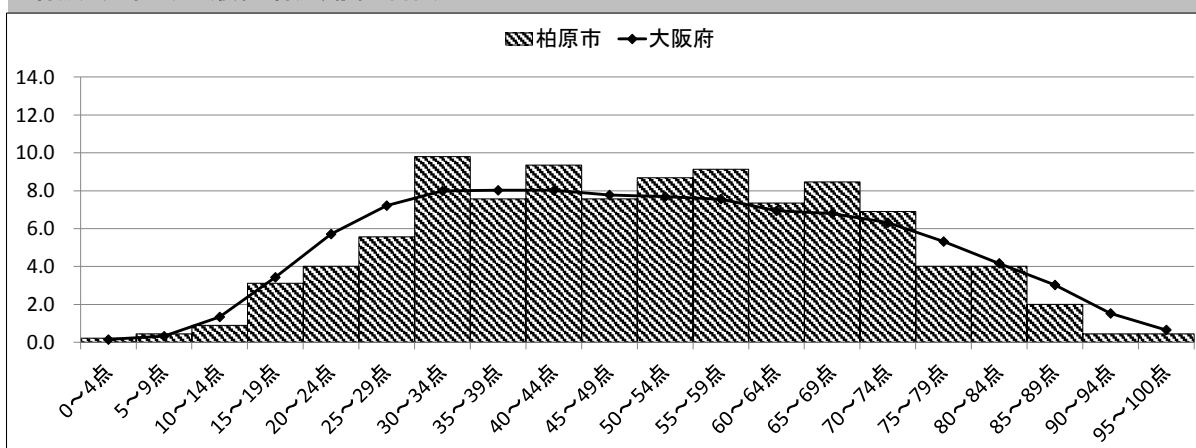
社 会

◆区分別レーダーチャート

分類	区分	対象設問数(問)	得点率(%)※		府比
			柏原市	大阪府	
学習指導要領の領域等	地理的分野	20	53.2	53.6	0.99
	歴史的分野	17	47.0	46.6	1.01
評価の観点	知識・技能	28	53.7	53.1	1.01
	思考・判断・表現	9	42.2	43.9	0.96
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	31	52.0	52.5	0.99
	短答式	4	51.8	48.1	1.08
	記述式	2	32.5	33.0	0.98



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)



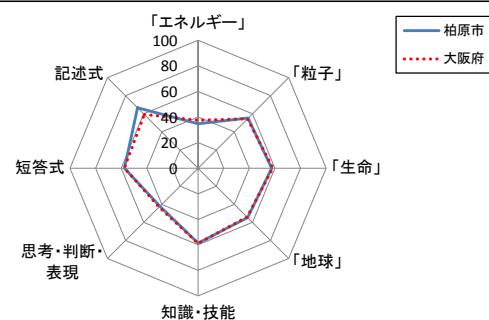
	平均点
柏原市	51.7
大阪府	52.3

理科(C)

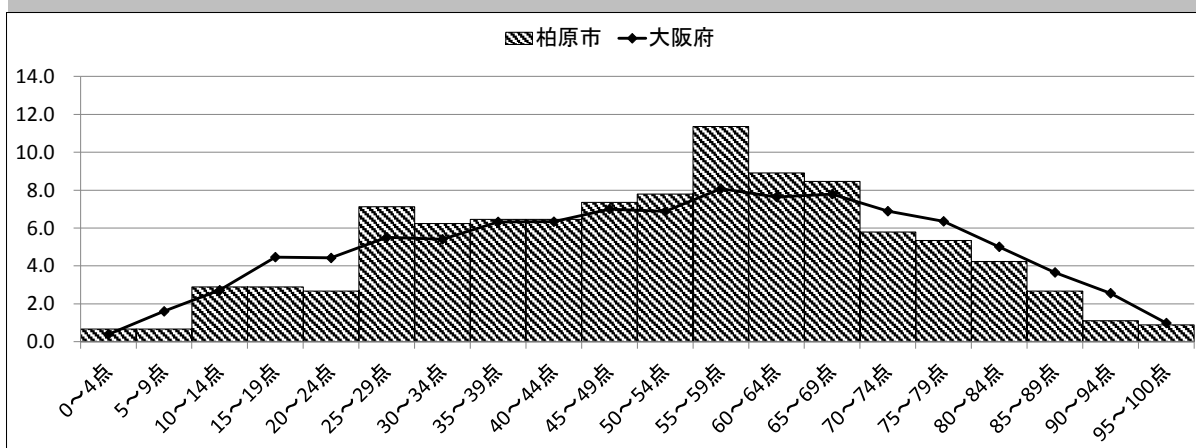
◆区分別レーダーチャート

※得点率(%)=平均点/配点

分類	区分	対象設 問数(問)	得点率(%)※		府比
			柏原市	大阪府	
学習指導要領の領域等	「エネルギー」	6	34.6	37.4	0.92
	「粒子」	8	55.3	54.5	1.01
	「生命」	10	57.4	58.4	0.98
	「地球」	6	54.7	54.1	1.01
評価の観点	知識・技能	19	58.6	58.9	1.00
	思考・判断・表現	11	42.2	43.2	0.98
	主体的に学習に取り組む態度	—	—	—	—
問題形式	選択式	23	47.9	49.3	0.97
	短答式	7	57.5	57.6	—
	記述式	2	66.8	59.3	1.13



◆得点別分布グラフ(横軸:得点、縦軸:割合)



○正答率が高い問題

問題番号	三	1			
問題の概要	新聞の下書き中の言葉を前後の文脈に合わせてふさわしい表現に直して書く				
出題の趣旨	文脈に合わせて適切に書くことができる				
領域	書くこと	評価	思考・判断・表現	形式	短答式

国語

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	64.0	7.5
大阪府	54.1	9.4

正答例

進められている

1「新聞の下書き」中の――線部①の文末を前後の文脈に合わせて、ふさわしい表現に直して書きなさい。

日本の農業の課題と未来

農業に従事する人の高齢化

農業に従事する人の中で、高齢の農業従事者（ふだんの仕事として農業をしている人）の数は年々減り続けてきた。（資料1）によると、二〇二〇年以降、従事者の平均年齢は、六十八歳である。

資料1

年	人数(人)	平均年齢(歳)
2010	205	66.2
2015	176	67.1
2020	136	67.8
2022	123	68.4

（農林水産省の資料により作成）

新しく農業に挑戦する人たち

一方、新たに農業を始める人への支援体制を整える自治体も出てきており、竹井さんのように、農業を始める人もいます。（資料2）の二〇二〇年・二〇二三年と比べると、新たに農業を始めた人の数は増加しています。

資料2

年	人数(人)
2010	940
2022	2650

（農林水産省の資料により作成）

進化する農業

農業に、ロボットやICT（情報通信技術）を使う「スマート農業」の技術開発や実用化が、進められています。「スマート農業」によって農作業の効率が上がったり、多く収穫できたりして、高齢者や農業を始めたばかりの人なども含めて、より多くの人が働きやすくなるといわれています。

編集後記

今回、竹井さんへの取材を通して、農業を将来の仕事にしたいという思いがさらに強くなった。今は青川町だけでなくさまざまな市町村で新たに農業を始める人への支援が行われており、竹井さんのように新たに農業を始める人が増えている。農業を取り巻く環境は、あるが「スマート農業」の技術開発や実用化で、より多くの人が働きやすくなっているようだ。私と同世代の人たちにも農業を将来の仕事の選択肢のひとつとして考えてほしい。

青川町農業支援課 山田真さん

考えよう！ これからの農業



トマトを収穫する竹井さん。自分の作ったトマトを「おいしい」と言ってもらう瞬間がなにより幸せだと語る。（7月〇日撮影）

夢をかなえることができればいいです。青川町に生まれて、農業を始めた竹井さん。最初は、町の人たちから「おもしろい」と思われていたが、いつかは農業をしたいという夢を捨てきれなかった。農作業は重労働である中で、青川町が、農業をしたいと考えている人たちに寄り添ってサポートしているのを知った。竹井さんは五年前に青川町に引っ越し、野菜の生産と経営の方法などを年間三回、その後、竹井さんは青川町の土地を借り、日本一おいしいトマトづくりをめざして、今年も元気にトマトづくりに取り組んでいる。

夢をかなえることができればいいです。青川町に生まれて、農業を始めた竹井さん。最初は、町の人たちから「おもしろい」と思われていたが、いつかは農業をしたいという夢を捨てきれなかった。農作業は重労働である中で、青川町が、農業をしたいと考えている人たちに寄り添ってサポートしているのを知った。竹井さんは五年前に青川町に引っ越し、野菜の生産と経営の方法などを年間三回、その後、竹井さんは青川町の土地を借り、日本一おいしいトマトづくりをめざして、今年も元気にトマトづくりに取り組んでいる。

★輝け農業新聞

令和6年(2024)7月〇日秋田みのり

③秋原さんの学校では、将来の夢について考え、調べたことをもとに新聞をつくることになりました。次は、農業に関心のある秋原さんが、農業について調べたり農家の人にインタビューをしたりして書いた「新聞の下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「新聞の下書き」

青川町で農業を始めた竹井さんのお話

真つ赤いトマトを手にとり私を迎える竹井さんの笑顔は輝いていた。竹井さんは、会社員として働いていたが、「いつかは農業をしたい」という夢を捨てきれなかった。農作業は重労働である中で、青川町が、農業をしたいと考えている人たちに寄り添ってサポートしているのを知った。竹井さんは五年前に青川町に引っ越し、野菜の生産と経営の方法などを年間三回、その後、竹井さんは青川町の土地を借り、日本一おいしいトマトづくりをめざして、今年も元気にトマトづくりに取り組んでいる。

○正答率が高い問題

問題番号	8	(1)	①		
問題の概要	度数分布表から度数が最も多い階級の階級値を求める				
出題の趣旨	度数と階級値の意味を理解している				
領域	データの活用	評価	知識・技能	形式	短答式

数学

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	50.6	12.8
大阪府	45.3	13.6

⑧ れいさんとかいさんは、授業で「データの活用」の学習をしています。インターネットで調べたところ、都道府県庁所在地別に1月～12月の各月における1世帯あたりの電気代（以下、「月別電気代」とする）がわかるデータをみつけました。このデータからは、毎年12回分の「月別電気代」がわかります。2人は、大阪府における2008年から2022年までの15年間の「月別電気代」、計180回分をつかて、累積度数を含めた度数分布表と箱ひげ図をつくりました。(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 表は、2008年から2022年までの180回分の「月別電気代」を、累積度数を含めた度数分布表に整理したものです。①、②の問いに答えなさい。

正答例

8500

表

階級(円)	度数(回)	累積度数(回)
以上 未満		
6000 ～ 7000	2	
7000 ～ 8000	17	A
8000 ～ 9000	39	
9000 ～ 10000	26	
10000 ～ 11000	26	
11000 ～ 12000	30	
12000 ～ 13000	22	
13000 ～ 14000	13	
14000 ～ 15000	4	
15000 ～ 16000	1	
合計	180	

① 度数が最も多い階級の階級値を求めなさい。

▼正答率が低い問題

英語

問題番号	4	(2)	
問題の概要	会話文の空欄に入る適切な語(前置詞since)を選ぶ		
出題の趣旨	語や文法事項等を理解して、正しい文を書くことができる		
領域	書くこと	評価	知識・技能 形式 選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	62.2	0.2
大阪府	72.1	0.2

- ④ 次の(1)～(5)はAとBの会話です。()に入る語句として最も適しているものを、あとのア～エからそれぞれ1つずつ選びなさい。
- (2) A : Where is Ken? I haven't seen him () this morning.
B : He went to the library.
- ア since
イ along
ウ under
エ when

正答例

ア

多い誤答
【解答類型4】エ 反応率＝16.6%(府11.9%)
【解答類型2】イ 反応率＝15.5%(府10.4%)

▼正答率が低い問題

数学

問題番号	1	(2)	
問題の概要	$x^2 + 2x - 3$ を因数分解する		
出題の趣旨	因数分解ができる		
領域	数と式	評価	知識・技能 形式 短答式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	64.9	9.4
大阪府	73.5	9.1

- ① 次の問いに答えなさい。
- (2) $x^2 + 2x - 3$ を因数分解しなさい。
- 正答例

$(x+3)(x-1)$

▼正答率が低い問題

英語

問題番号	8	(4)	
問題の概要	スピーチ原稿とグラフを読み、スピーチ原稿やグラフの内容と合う英文を選ぶ		
出題の趣旨	日常的な話題についてのスピーチ原稿とグラフを読み、話の概要を捉えて、内容の要点を適切に把握することができる		
領域	読むこと	評価	思考・判断・表現 形式 選択式

	正答率(%)	無解答率(%)
柏原市	42.3	2.3
大阪府	50.2	1.4

- ⑧ サトミ (Satomi) は、英語の授業で「冷凍食品 (frozen food)」についてスピーチ (speech) をするため、スピーチ原稿とグラフ (graph) を作成しました。次の【スピーチ原稿】と【グラフ】を読んで、あとの問いに答えなさい。

【スピーチ原稿】

Frozen Foods

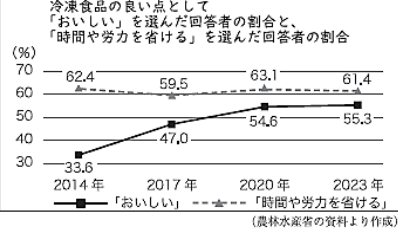
When you hear the word, "frozen food," what *impression do you have? I think that frozen foods are *convenient and delicious. I often use *frozen *shrimp pilaf. (A) use frozen shrimp pilaf is very convenient because I can cook it easily. But my grandmother often says, "Frozen foods are convenient, but they are not delicious." So, I wanted to learn about frozen foods. Today, I'll talk about frozen foods.

*On the Internet, I found *research about frozen foods in Japan. In the research, *respondents *answer a question, "What are *good points of frozen foods?" *by choosing good points from some *choices. Some respondents *chose a choice, "Frozen foods can *save time and effort." as a good point. Some respondents chose a choice, "Frozen foods are delicious." as a good point. Look at this graph. From this graph, we can see the *percentages of the respondents. In *each of the years, about 60% of the respondents chose the choice, "Frozen foods can save time and effort." Look at the percentages of "Frozen foods are delicious." In 2014, 33.6% of the respondents chose the choice, "Frozen foods are delicious." In 2023, 55.3% of the respondents chose that choice. Why did the percentage *increase? I think that frozen foods *became delicious *thanks to some *technologies. And I think that technologies are very important for delicious frozen foods. I learned that a technology to *freeze foods *evenly and *quickly is used to make some frozen foods. Thanks to ① this technology, we can buy delicious frozen foods. For example, we can buy delicious frozen *sushi*.

Now, there are many kinds of frozen foods in Japan. I think that frozen foods are *helpful for the *lives of people. And I hope that frozen foods will be more convenient and more delicious *in the future.

Thank you.

【グラフ】



- (4) 次のア～エのうち、【スピーチ原稿】や【グラフ】の内容と合うものを1つ選びなさい。
- ア Satomi has never used frozen shrimp pilaf because she can't cook it easily.
- イ In the graph, in 2017, 33.6% of the respondents chose a choice, "Frozen foods are delicious."
- ウ In the graph, in 2023, the percentage of "Frozen foods are delicious." was higher than the percentage of "Frozen foods can save time and effort."
- エ Satomi hopes that frozen foods will be more convenient and more delicious.

正答例

エ

最も多い誤答
【解答類型3】ウ 反応率＝30.6%(府25.4%)

アンケート結果 【回答状況一覧】

第3学年

①大阪府との比較による評価 ※肯定的回答について比較(例外は★印で詳細を記載)

「◎」+10以上 「○」+5以上 「▽」-5以下 「▼」-10以下

②肯定的回答の割合(市)による評価

「◎」90%以上 「○」80%以上90%未満 「▽」20%以上50%未満 「▼」20%未満

③経年変化(市)による評価 ※肯定的回答について比較(例外は★印で詳細を記載)

「○」+5以上 「▽」-5以下 ※新規項目は比較なし

質問番号が塗りつぶされているもの(緑色)
教科の平均点との相関関係が
指摘されている項目(大阪府教育庁)

※「-」は選択肢の内容等をふまえ、評価を行っていない項目。

質問内容	①府と比較	②肯定	③経年
問1 文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。		○	
問2 わからないことや知りたいことがあったとき、図書館資料やインターネットなどで調べている。			
問3 授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。			
問4 授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。★週3回以上	▼	-	▽
問5 家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。			
問6 あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。		○	
問7 学校などで、他の人と協力し合うことができる。		◎	
問8 難しいことがあっても、あきらめない。	○	○	
問9 テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。			▽
問10 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。★有無	○	-	
問11 普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。★3時間以上		-	○

《結果概要》

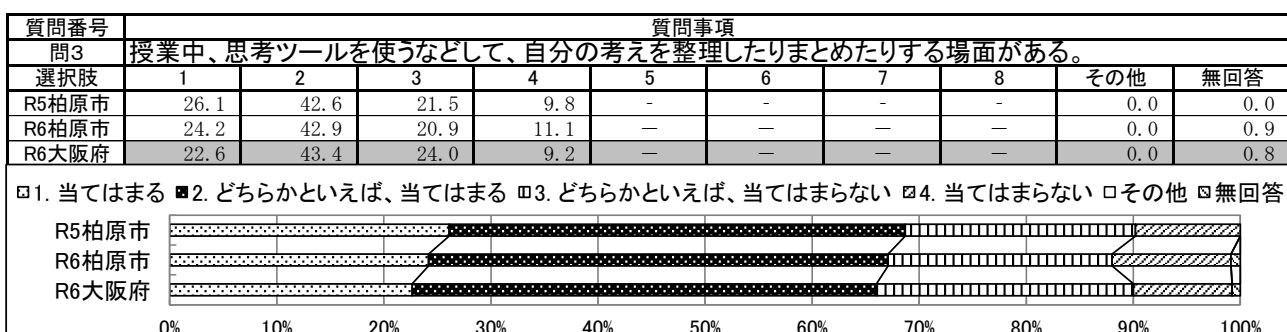
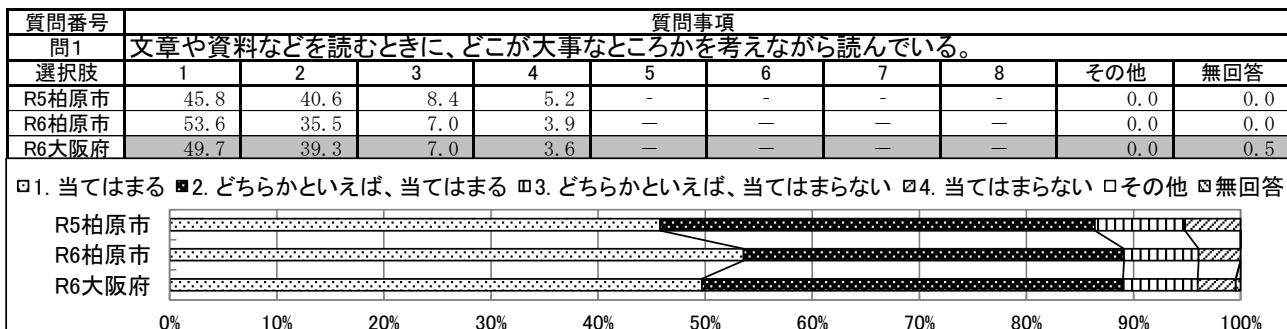
○学級の雰囲気、他者との協働、挑戦心等において、8割以上の生徒が肯定的な回答をしている。

○8割以上の生徒が、大事な部分や要点を意識して文章や資料等を読み取ろうとしている。

○7割以上の生徒が、短時間であっても日常的に読書をする機会がある。

▼授業中にタブレット端末を活用して協働的に学ぶ機会が少ない。

▼2年次よりは改善しているものの、日常的にスマートフォン等をゲーム・SNS等に使う時間が長い。

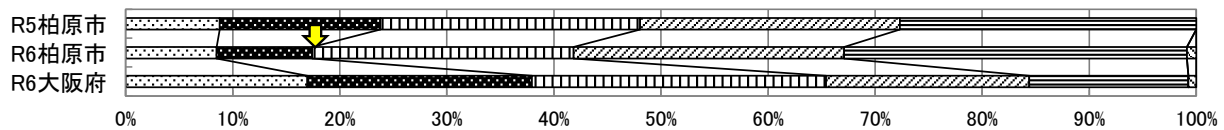


アンケート結果 【回答状況一覧】

第3学年

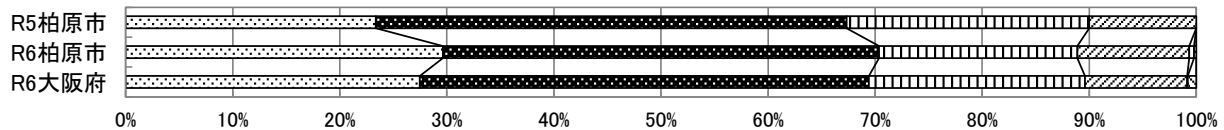
質問番号	質問事項									
問4	授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
R5柏原市	8.8	15.0	24.3	24.3	27.7	-	-	-	0.0	0.0
R6柏原市	8.5	8.9	24.4	25.3	32.0	-	-	-	0.0	0.9
R6大阪府	17.0	21.0	27.5	19.0	14.9	-	-	-	0.0	0.7

□1. ほぼ毎日 □2. 週3回以上 □3. 週1回以上 □4. 月1回以上 □5. 月1回より少ない □その他 □無回答



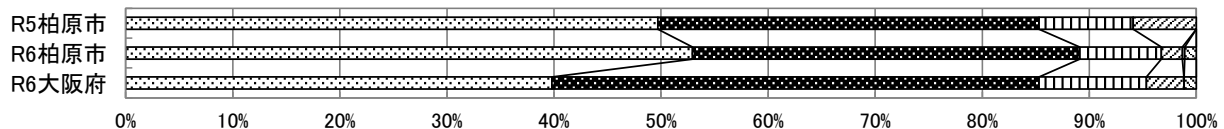
質問番号	質問事項									
問5	家で、自分の苦手なところ、必要なところを考えて勉強している。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
R5柏原市	23.4	44.0	22.7	10.0	-	-	-	-	0.0	0.0
R6柏原市	29.6	40.7	18.5	10.5	-	-	-	-	0.4	0.2
R6大阪府	27.5	41.9	20.2	9.5	-	-	-	-	0.1	0.8

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



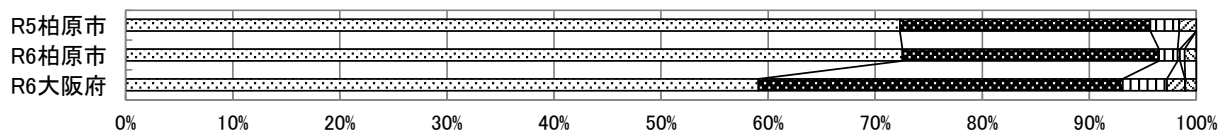
質問番号	質問事項									
問6	あなたの学級は、違った考えや意見を受け入れる雰囲気がある。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
R5柏原市	49.7	35.6	8.8	5.9	-	-	-	-	0.0	0.0
R6柏原市	52.9	36.2	7.6	2.0	-	-	-	-	0.2	1.1
R6大阪府	39.8	45.5	10.0	3.5	-	-	-	-	0.0	1.1

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



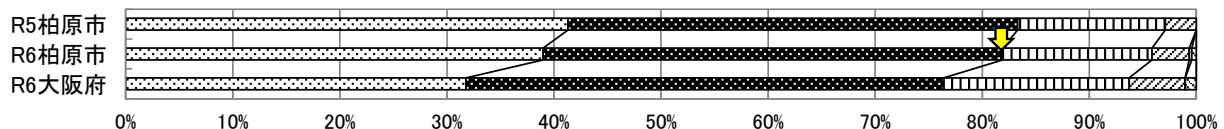
質問番号	質問事項									
問7	学校などで、他の人と協力し合することができる。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
R5柏原市	72.3	23.4	2.7	1.6	-	-	-	-	0.0	0.0
R6柏原市	72.5	24.0	1.7	0.2	-	-	-	-	0.4	1.1
R6大阪府	59.1	34.0	4.1	1.7	-	-	-	-	0.0	1.0

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



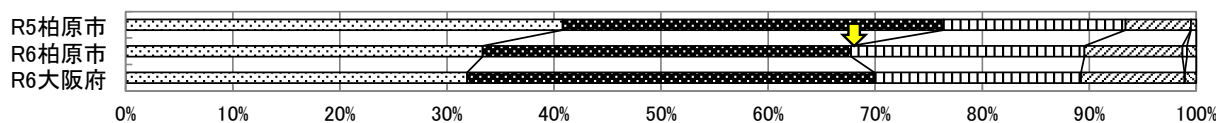
質問番号	質問事項									
問8	難しいことがあっても、あきらめない。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
R5柏原市	41.3	42.0	13.8	2.9	-	-	-	-	0.0	0.0
R6柏原市	39.0	42.9	13.9	3.5	-	-	-	-	0.2	0.4
R6大阪府	31.8	44.6	17.3	5.2	-	-	-	-	0.0	1.0

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



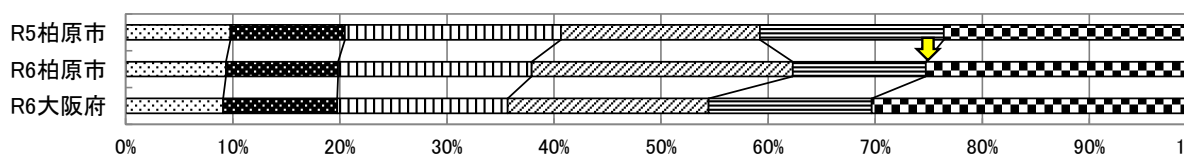
質問番号	質問事項									
問9	テレビや新聞、インターネットで社会的な出来事に関するニュースを見ている。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
R5柏原市	40.8	35.6	17.0	6.1	-	-	-	-	0.0	0.5
R6柏原市	33.3	34.4	21.8	9.2	-	-	-	-	0.4	0.9
R6大阪府	31.9	38.0	19.3	9.7	-	-	-	-	0.0	1.1

□1. 当てはまる ■2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □その他 □無回答



質問番号	質問事項									
問10	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、本(教科書は除く)を読みますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
R5柏原市	9.8	10.7	20.2	18.6	17.2	23.6	-	-	0.0	0.0
R6柏原市	9.4	10.5	18.1	24.4	12.4	25.1	-	-	0.0	0.2
R6大阪府	9.1	10.7	15.9	18.8	15.2	29.4	-	-	0.0	0.9

□1. 2時間以上 ■2. 1時間以上、2時間より少ない □3. 30分以上、1時間より少ない
 □4. 10分以上、30分より少ない ■5. 10分より少ない ■6. 全くしない



質問番号	質問事項									
問11	普段(月曜日から日曜日)、1日平均どれくらいの時間、学習以外(ゲームやSNSなど)にスマートフォンやタブレットを使っていますか。									
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
R5柏原市	43.3	20.9	15.9	10.2	2.9	1.8	5.0	-	0.0	0.0
R6柏原市	40.1	17.0	16.3	13.9	3.5	2.2	6.8	-	0.0	0.2
R6大阪府	35.9	18.6	22.4	13.6	4.5	2.8	1.3	-	0.0	1.0

□1. 4時間以上 ■2. 3時間以上、4時間より少ない □3. 2時間以上、3時間より少ない
 □4. 1時間以上、2時間より少ない ■5. 30分以上、1時間より少ない ■6. 30分より少ない
 □7. スマートフォンやタブレットを持っていない □その他 □無回答

